

BUSINESS SHOW  
第59回

## ビジネスショー TOKYO 2007 でのセミナーレポート!

特集

2007年7月11日(水)~13日(金)  
in 東京ビッグサイト



ビジネスショー2007には、134社が出展。会期中の来場者数は、約31,000人と盛況に開催。当社も、ロジスティクスソリューションコーナーにブース出展とともに、セミナーを実施。多くのお客様にご好評をいただきました。

### “安全日本一”を目指して、全社で挑戦!

安全への取り組み セイフティレコーダ(SR)の活用事例

## 多摩運送株式会社

代表取締役副社長 小菅 省三 様



- 1. 事故8割減!
- 2. 燃費約8%向上!
- 3. 評価点数1年で10点向上!

### 「安全と環境」をスローガンに掲げ、積極的に取り組み

安全対策について取り組む中で、アナログタコグラフでの管理は、長年続けておりましたが、事故撲滅の効果的な決定打にはならない行き詰った状態でした。

SRの存在を知り、当初から確信を持って取り組んだわけではないのですが、教習に活用してみると「習慣的で無意識な運転行動」の向上に効果を発揮することがわかりました。全車に設置することを決めましたが、運用について、かなり悩みました。社内委員会で議論を重ね、運用マニュアルを作成し、SRの機能も理解した上で、スタートさせました。

成果を早期に出せた理由は、当社の長年の安全に対する取り組みを通して、従業員にすでにSRの設置・運用を受け入れる土壌が育成されていたからだと感じます。

#### 多摩運送株式会社

会社概要

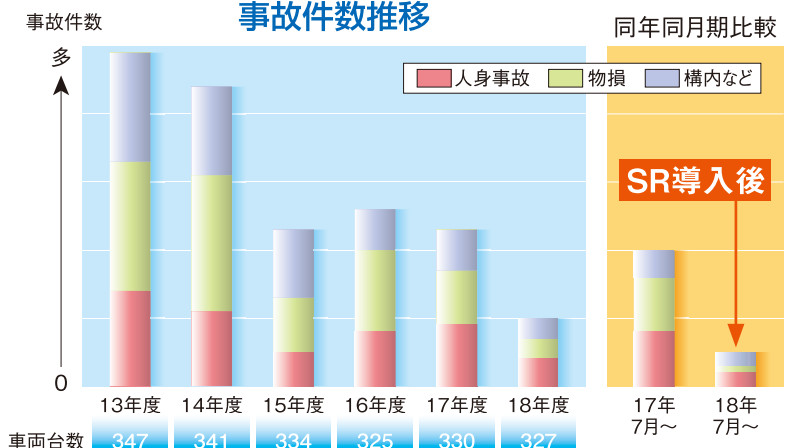
今年で59年目を迎える。営業拠点は、東京23区内に2、23区外に11、都外に14箇所。旧来より安全について、3つの責任と題して、経営理念に掲げている。

#### 多摩運送の3つの責任

1. 社会への責任 (安全な運転)
2. 荷主に対する責任 (安全な輸送)
3. 従業員とその家族への責任 (安全な職場)

本 社 〒190-8508 東京都立川市富士見町6-49-18  
 営業拠点 27拠点  
 設 立 昭和24年9月13日  
 資 本 金 3億円  
 代 表 者 代表取締役社長 星野良三  
 従業員数 570名(平成18年3月31日現在)  
 車両台数 327台  
 事業内容 貨物自動車運送事業、倉庫業、梱包業等

### 事故件数推移



## 運用 1 事業所での各ドライバーによる運用


### 走行ごとに各自完結の仕組み!

ドライバーが、走行データを自らPCで取り込み、日報を出力。このとき、指導書(レッド)が出力された場合は、併せて事業所長に提出。

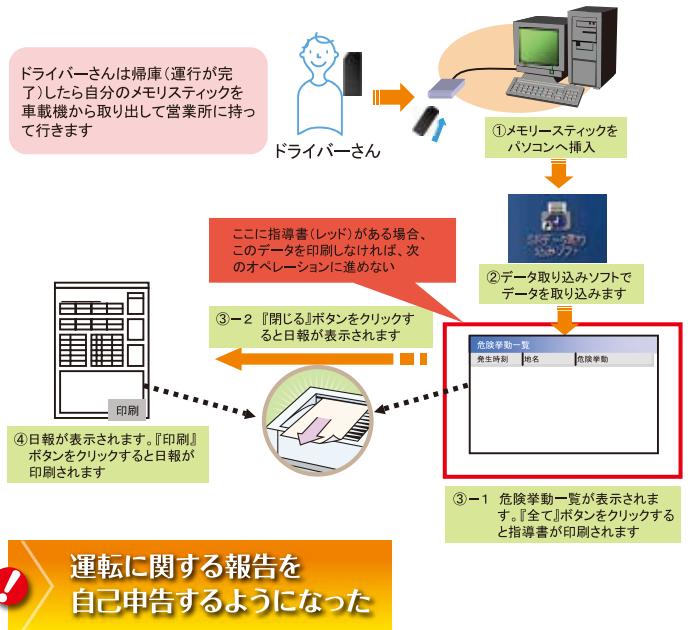
事業所長とドライバーは、その場で記録された動画を検証し、面談の上、運転の改善を実施。

**POINT!**

指導書(レッド) & 日報



- ◎印刷しなければ、その後のオペレーションに進めない
- ◎ドライバーの反省、事業所長の指導内容を記載。運行データとともに提出が必須。



## 運用 2 本社での運用

### 指導書(レッド)を徹底分析する仕組み!

指導書(レッド)は、運行データとともに本社に届けられる。すべて本部安全委員会※に報告。そこで動画を映写し、「習慣的で無意識的な運轉行動」の点検を実施。危険度合いに応じて、書面指導がなされる。2回目のドライバーについては、しかるべき個別指導を行う。

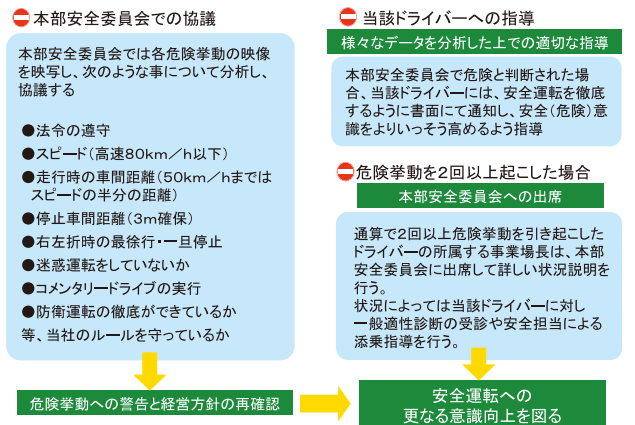
※本部安全委員会  
経営幹部・事業所長・労働組合幹部・本社安全担当の計10名で構成

**POINT!**

◎毎月運転診断結果の評価に基づき、見える評価に!

- 1) ドライバー間・事業所間の比較
- 2) 個人別評価の推移

◎個々の特性に応じた効果的な教育・指導ができる!



危険挙動なのか、防衛運轉だったのか? 傾向なども分析!

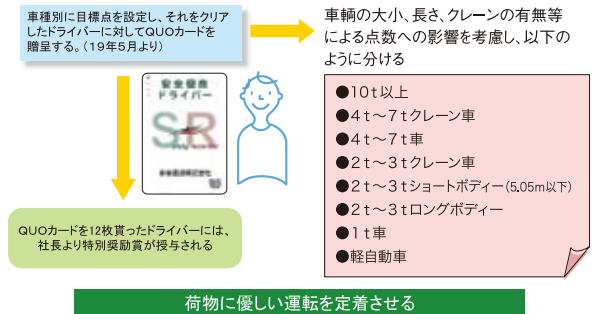
## 運用 3 励みになるインセンティブ制度

### 家族も喜んでくれる!褒賞の仕組み!

目標点に達成したドライバー全員に、お褒めの書状とQUOカードを贈呈。さらに、QUOカードを12枚得たドライバーには、社長より奥様やお母様宛に書状とともに、特別奨励賞が贈られます。

#### アイドリングストップ奨励制度

前年同月比30%以上アイドリング時間削減達成のドライバーを奨励。安全運轉集計表を活用して、全社的に月間アイドリング時間削減に取り組む。



### まとめ

導入の当初は、危険挙動の衝撃的なものがありました。今では、数も減ってきており、発生しても、危険度の低いものになってきています。当社が、このように成果を出せたのは、すでに安全対策に取り組む土壌を築けていたこと、個別に具体的に指導・教育を行うSR運用を行えたことにあります。本年の東京都トラック協会の賀詞交換会において、同協会の会長も務めております当社社長が次のように公約をいたしました。

「東ト協※として、会員4000社の交通事故を3年間で半減させる」「東京都の交通事故を半減させる」これには、ご出席の石原都知事も大変感動されたようです。しかし、この公約を達成するには、会員事業者にドライブレコーダの導入が不可欠であり、その公約達成に少しでも役に立つのであればと考え、今回の講演を引き受けました。交通安全に少しでもお役立ちできれば、望外の幸せでございます。 ※東ト協：東京都トラック協会

## 小菅副社長にインタビュー!

教えてください!

## Q1 SRを選んだ理由は?

SRは、無料で試すことができます。教習車に取り付けて3~4日運転させてみました。

初日、何も言わずにドライバーさんに自由に運転をさせました。2日目からは、教官が「〇〇してください」と指導をします。その指導の下、運転します。

2日目、3日目、4日目と日を重ね、指導することに点数が上がっていきしました。

例をあげれば、4t車で初日27点だったドライバーさんが、2日目に教官の指導を受けて走ると、47点になりました。

「習慣的で無意識な運転行動」の向上に効果があるとわかり、導入に踏み切りました。

## Q3 新しくチャレンジしていることは?

安全と環境をスローガンに掲げている中で、アイドリング時間の削減に取り組みます。

正確な測定数値ではありませんが、SRを装着してから、8%程度の燃費向上の効果を確認しています。

SRに備わっているアイドリング時間の測定機を活用して、昨年の30%削減を目標にしています。

今年は、この結果が楽しみです。

## Q2 ここまで早期に高い効果を出せた秘密は?

成果の挙がった要因として、従業員の中にSRの導入を受け入れる土壌があったこと、個別に具体的に指導・教育できることで、評価の点数は1年で10点向上し、事故の件数は減少しています。

実際に取り組むのは、ドライバーさんです。管理ばかりを強調すると定着しませんので、がんばったドライバーさんには、やはりインセンティブも大切です。ドライバーさんも含め、安全に対する取り組みを会社一丸となってやってくれています。



国立営業所

5月QC事例発表会では3チームが、SRに対する活用事例を紹介



八王子営業所



大阪営業所

車両に鈴を取り付けてやさしい運転を心がけています。



## SRレポート

3年でドライブレコーダ5万台装着、事故半減の目標スタート!  
東京都トラック協会

社団法人東京都トラック協会（星野良三会長）は事故防止と環境改善のため、ドライブレコーダ導入を積極的に推進している。

同協会は、装着助成の申請受付を6月27日から開始した。7月5、6日には東ト協総合会館でドライブレコーダ助成説明会、機器展示会が開催され、(株)データ・テックも参加。約300名の来場者でにぎわい、ドライブレコーダへの高い関心がうかがえた。



7月5~6日  
ドライブレコーダー助成事業  
説明会が開催された。

## 機器展示会にも、来場者は熱心!



ドライブレコーダー

## DRの装着助成を開始

助成申請受付は6月27日から—対象機器を発表

安全装置（映像記録型）を発表。これからの対象ドライブレコーダー（DR）装着として認められたのは、東ト協会員事業者の都内ナンバー（足立・品川・練馬・多摩・八王子）の事業用貨物自動車へのDR装着および解析ソフトの導入。指定期間まで申請（請求）できることが必要。

助成対象機器は映像記録ができるもので、東ト協では6月21日現在の11社の機器（下表参照）を対象とする。申請受付期間は20年協1万円東ト協1万円。

2月29日まで（期間内でも予算枠に達した場合「は終了」）。

◆EMSと助成分離  
東ト協ではDR助成に「DRでデジタルタコグラフ機能などを備えたEMS機器（エコードライバ管理システム）の機能を持ち、EMS補助対象機器（EMS用車載器）に対しては、DR助成か、EMS補助（全ト協1万円東ト協1万円）

東京都トラック協会（星野良三会長）は、19年度の新規中核事業である安全装置（映像記録型ドライブレコーダー）の装着助成の申請受付を6月27日から開始する。助成対象は、今年4月以降新たに導入した車載器および解析ソフト。車載器については、新車、使用過程車いずれの装着でも対象となる。東ト協は、会員事業者の車両の半数にドライブレコーダーを装着し、3年後に事故半減をめざす事業を星野会長の主導で19年度新規に開始している。

◆DRを事故半減のツールに  
星野東ト協会長は、年初の理事会で今年度の重要施策の1つとして事故防止を強調。DRによる事故防止と環境改善効果という自社の経験をもとに、「東ト協会員事業者の車両の半数に当たる5万台にDRを装着。3年後に事故半減をめざす」との方針を掲げた。DRによる事故防止と環境改善には東京都も評価し、石原慎太郎都知事は「支援を前向きに検討したい」としている。

SR REPORT SR REPORT SR REPORT SR REPORT SR REPORT



# 「元気なモノ作り中小企業300社」に (株)データ・テックが 選ばれました!

経済産業省が第2回目の「元気なモノ作り中小企業300社 2007年度」を発表。表彰式が、2007年6月19日に国際展示フォーラム（東京都有楽町）にて開催され、当社は名誉ある表彰を受ける事ができました。当社のメイン商品『セイフティレコーダ』の高い技術力、国内シェアの高さが評価されたものです。今後共、より一層品質の高いモノ作りに邁進して行きたいと思っております。



## 「元気なモノ作り中小企業300社」

経済産業省中小企業庁が、モノ作り中小企業のうち、高い技術力により世界・日本市場において高いシェアを持っているものや、他社ではなし得ない加工等を行うことができるなど、日本が世界に誇れる中小企業を全国から300社選定し、「元気なモノ作り中小企業300社」（2007年は東京都21社）として公表しています。



## ビジネスショー2007に出展しました

期 間：2007年7月11日～13日  
会 場：東京ビッグサイト（国際展示場 有明）  
テーマ：事故を減らすドライブレコーダ ～日常運転の安全度を点数表示！～

SRVideoを中心にセイフティレコーダを展示しました。  
7月13日は多摩運送株式会社取締役副社長の小菅省三氏による講演を提供。セイフティレコーダを活用した安全への取り組みをご披露いただきました。定員80名の会場は、大盛況となりました。

## イベント紹介

参加には、**事前申込が必要**です。お問い合わせは、下記コールセンターまで。

### SR定期セミナー

	8月	9月	10月
東京 (株)データ・テック 東京本社 (大田区 蒲田)	8/23(木)	9/20(木)	改めて スケジュールを ご案内します
大阪 大阪厚生年金会館 (大阪市 心斎橋)	8/29(水)	9/26(水)	

### 内容

- 運転診断結果など、データの見方について
- SR導入活用事例紹介およびQ&A

※イベント日程・会場等は、都合により変更することがあります。  
変更の場合は、事前にご連絡いたします。

## 営業関係本社事務所引越し及び事務所開設のご案内

弊社営業本部・コールセンター・サポートセンターは、8月6日より事務所を下記に移転します。  
また、弊社他県事務所（大阪・福岡）を開設しました。

	営業本部	コールセンター	サポートセンター	大阪事務所	福岡事務所
T E L	03-5703-7060	03-5711-7284 03-5711-7286	03-5703-7047	06-6395-3947	093-692-5082
F A X	03-5703-7063			06-6395-3948	093-692-5082
住 所	〒144-0052 東京都大田区蒲田5丁目8番7号K1ビル8階				

発行：株式会社 データ・テック

〒144-0052 東京都大田区蒲田4-42-12  
〔コールセンター〕 TEL:03-5711-7286 FAX:03-5703-7043

<http://www.datatec.co.jp>